



# GARZAS

施工マニュアル

## INDEX

安全上のご注意	1
施工前のチェックシート	2
施工条件	3
施工方法	4
施工の流れ（内装壁）	5
施工の流れ（内装床）	6
施工の流れ（外装壁）	7
加工納まり図	8
梱包	10
メンテナンス	11

## 安全上のご注意

安全のため必ず施工マニュアルをお守りください。

商品を安全に施工し、使用時の事故を回避するため施工前にお読みいただき事故が起きないように正しく施工してください。



ご使用の際は、必ず事前に本製品がお客様の使用する目的、用途、条件など詳細を工事店様とお打合せのうえ、現場に適した施工方法をお選びください。

### 警告事項

- ・大判タイルのため搬入経路、運搬方法を事前に打ち合わせしてください。
- ・内外壁の高さは3メートル以内で施工してください。3メートルを超える高さへ施工する場合は、弊社営業窓口までお問い合わせください。
- ・接着剤は必ず推奨接着剤をご使用ください。
- ・必ず使用期限内の接着剤をご使用ください。
- ・接着剤は季節によって硬化速度が異なります。夏期は30分、冬期は90分以内で張り付けてください。（フレックスマルチの場合）
- ・張り付け可能時間を超えると乾燥して接着不良などの原因になります。
- ・段差や不陸が大きいと接着面積が低下する恐れがあるため、下地の不陸は±1mm / 2メートル以内にしてください。
- ・突き付けで施工はできません。目地幅を3mm以上確保してください。
- ・タイル面の伸縮目地は下地に合わせて調整してください。
- ・タイルや下地が濡れている場合は充分乾燥させてください。
- ・気温が昼夜問わず5℃以下の場合、接着剤の硬化が遅くなりますので予めご注意ください。

### 取り扱いの注意事項

- ・安全靴、墜落制止用器具、ヘルメットは必ず着用してください。
- ・運搬施工時には必ず手袋を着用してください。
- ・現場で加工する場合、保護マスク、保護メガネをするなど怪我をしないように気を付けてください。
- ・紛じんが目や口に入った場合、速やかに水で洗い流してください。
- ・設備機器を取り付ける場合、あらかじめ機器の種類、取り付け位置、重量など取り付け方法を確認し下地補強の確認をしてください。
- ・大判タイルのため、建築計画する段階から搬入、作業場所の確保が必要です。

# 施工前チェックシート

## ■ 事前確認事項 (各事項の□にチェック印をつけてご確認ください。)

### 【現場の確認事項】

- 保護具の確認をしてください。(安全靴、ヘルメット、墜落制止用器具、手袋、保護マスク等)
- 下地の温度が5～35℃の施工に適した温度か確認してください。
- 下地の表面が濡れている場合は、施工できません。下地を完全に乾燥させてから接着剤を塗布してください。
- 下地にチリやホコリがなく、清掃されているか確認してください。
- 下地の精度の影響を受けやすいので、下地が悪い場合、必ず下地の補修をしてください。
- 下地の精度が± 1mm /2メートルの基準範囲内か確認してください。
- ピス、釘頭は下地に埋め込んでおいてください。

### 【搬入時の注意事項】

- 搬入方法、保管場所、作業場所の確保ができていないか事前に打ち合わせしてください。
- 大判タイルのため、運搬、搬入、施工の際は2名以上で作業を行ってください。
- 運搬の際に平持ちで持つとたわみ、タイルが割れますので必ず縦にしてたわまないように運んでください。
- 磁器質タイルで割れものですので、運搬や施工時には十分お気を付けてください。
- 必要に応じて現場で加工する場所を確保してください。
- 接着後、硬化するまでの期間は、歩行はできないため通路の確保をしてください。
- 搬入の際、吸盤を使用する場合は吸引力の強いものをご使用ください。

### 【施工前の注意事項】

- 内外壁の高さは3メートル以内で施工してください。3メートルを超える高さへ施工する場合は、弊社営業窓口までお問い合わせください。
- 施工方法は現場の状況に応じて、適正な施工方法をお選びください。
- 雨が接着剤にかかる条件での施工は避けてください。防水処理を必ずしてください。
- 下地にチリやホコリがなく、清掃されているか確認してください。
- 外壁で金物を使用する場合は、下地や現場の条件に適した金物を使用してください。
- 下地の目地にタイルがまたがないように、割付し施工してください。
- 天井部、斜め壁の施工はできません。
- 接着剤を塗布する際は、1枚分を目安に塗布してください。多く塗りすぎると接着剤の表面が乾燥し、剥離する場合があります。
- 改良圧着張りで下地とタイルに空洞がないよう密着させて施工してください。だんご張り（点づけ施工）は空隙があり剥離やひび割れの危険があるため施工はできません。接着剤を塗ったタイルは、一度置くと調整が難しいため、目地ピッチなど使用しずれ直しがないように施工してください。
- 突き付けでの施工は、欠けや割れの原因になりますのでやめてください。
- タイルの表面にホコリが付着していると吸盤の吸着力がなく、落下しますので事前に表面をウエスでよく拭き取ってください。
- 割付図に合わせて墨出し、張り始めの位置、施工手順の確認をしてください。
- 大判タイルで厚さが薄いため、タイルを接着したらゴムハンマーで強く叩かず振動工具を使用しよく密着するように施工してください。
- 外壁の目地はシーリング材をご使用ください。

### 【他部材との取付位置の確認】

- サッシ、ドア、電気設備など取付位置が図面通りになっていることを確認してください。

# 施工条件

施工箇所	下地	推奨接着剤	条件	注意事項
内装壁	モルタル コンクリート	タイルメント インテリアフレックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3メートル以内。</li> <li>・下地が濡れていたり、湿気を帯びた場合は施工できません。</li> <li>・下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上。</li> <li>・養生し、よく乾燥していることを確認します。</li> <li>・ボード類（合板）+コンクリートとコンクリートなど構造が異なる下地材を跨いで施工はひび割れ、剥離の原因になるため施工はできませんのでご注意ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面接着剤張り、改良圧着張り、部分弾性接着剤張り（ビード塗布） ※点づけ施工（だんご張り）はしないでください。空隙があると破損や剥離の原因になります。</li> <li>・タイルと下地側に接着剤がよく張り付くように、しごき塗りしてから、くし目を立てて施工してください。</li> <li>・下地側には6mmくし目、タイル側には3mmくし目で改良圧着張りしてください。</li> <li>・接着剤は1枚分の範囲で塗布してください。施工に時間がかかるので広い範囲で接着剤を塗布するとオープンタイムが長くなり剥離する危険性があります。</li> <li>・石膏ボード下地の場合は、全面接着張りで施工してください。</li> </ul>
	ボード下地 （鉄骨造、木造）	タイルメント インテリアフレックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3メートル以内。</li> <li>・石膏ボード（9.5mm厚以上）、合板（I類9.5mm厚以上）。</li> <li>・ケイカル板（12mm厚以上、比重1.0）。</li> <li>・タワミのない厚手の合板又はボード類を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面接着剤張り、改良圧着張り ※点づけ施工（だんご張り）はしないでください。空隙があると破損や剥離の原因になります。</li> <li>・タイルと下地側に接着剤がよく張り付くように、しごき塗りしてからくし目を立てて施工してください。</li> <li>・下地側には6mmくし目、タイル側には3mmくし目で改良圧着張りで施工してください。</li> <li>・下地とタイルのくし目が空隙がないように、振動工具で密着するようしっかり圧着してください。</li> <li>・ゴムハンマーで叩くと割れる危険性がありますので使用はしないでください。</li> <li>・タイルの裏面と下地との間に空洞ができないように、しっかり密着させてください。</li> <li>・接着剤は1枚分の範囲で塗布してください。施工に時間がかかるので広い範囲で接着剤を塗布するとオープンタイムが長くなり剥離する危険性があります。</li> </ul>
内装床	モルタル コンクリート	タイルメント MSフロア10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸縮目地をまたがってタイルを張らないようにしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面接着剤張り、改良圧着張り ※点づけ施工（だんご張り）はしないでください。空隙があると破損や剥離の原因になります。</li> <li>・タイルと下地側に接着剤がよく張り付くように、しごき塗りしてからくし目を立てて施工してください。</li> <li>・下地側には6mmくし目、タイル側には3mmくし目で改良圧着張りで施工してください。</li> <li>・下地とタイルのくし目が空隙がないように、振動工具で密着するようしっかり圧着してください。</li> <li>・ゴムハンマーで叩くと割れる危険性がありますので使用はしないでください。</li> <li>・タイルの裏面と下地との間に空洞ができないように、しっかり密着させてください。</li> <li>・接着剤は1枚分の範囲で塗布してください。施工に時間がかかるので広い範囲で接着剤を塗布するとオープンタイムが長くなり剥離する危険性があります。</li> </ul>
	ボード下地	タイルメント MSフロア10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合板18mm以上を2枚張り。</li> <li>・下地がたわむと割れます。</li> <li>・床暖房機器の上に、直接張れませんのでご注意ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面接着剤張り、改良圧着張り ※点づけ施工（だんご張り）はしないでください。空隙があると破損や剥離の原因になります。</li> <li>・タイルと下地側に接着剤がよく張り付くように、しごき塗りしてからくし目を立てて施工してください。</li> <li>・下地側には6mmくし目、タイル側には3mmくし目を立てて、しっかり接着剤が全面に張りつくように施工してください。（改良圧着張り）</li> <li>・下地とタイルのくし目が空隙がないように、振動工具で密着するようしっかり圧着してください。</li> <li>・タイルの裏面と下地との間に空洞ができないように、しっかり密着させてください。</li> <li>・接着剤は1枚分の範囲で塗布してください。施工に時間がかかるので広い範囲で接着剤を塗布するとオープンタイムが長くなり剥離する危険性があります。</li> </ul>
外装壁	モルタル コンクリート 押出成形 セメント サイディング	タイルメント フレックスマルチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3メートル以内。</li> <li>・下地の目地をまたがってタイルを施工はしないでください。</li> <li>・タイル裏面に雨水等が浸入しないよう、笠木の設置やシーリング処理等の止水処置をしてください。</li> <li>・サイディング下地の場合は、プライマー処理を推奨します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面接着剤張り、改良圧着張り ※点づけ施工（だんご張り）はしないでください。空隙があると破損や剥離の原因になります。</li> <li>・タイルと下地側に接着剤がよく張り付くように、しごき塗りしてからくし目を立てて施工してください。</li> <li>・下地側には6mmくし目、タイル側には3mmくし目を立てて、しっかり接着剤が全面に張りつくように施工してください。（改良圧着張り）</li> <li>・下地とタイルのくし目が空隙がないように、振動工具で密着するようしっかり圧着してください。</li> <li>・タイルの裏面と下地との間に空洞ができないように、しっかり密着させてください。</li> <li>・接着剤は1枚分の範囲で塗布してください。施工に時間がかかるので広い範囲で接着剤を塗布するとオープンタイムが長くなり剥離する危険性があります。</li> </ul>

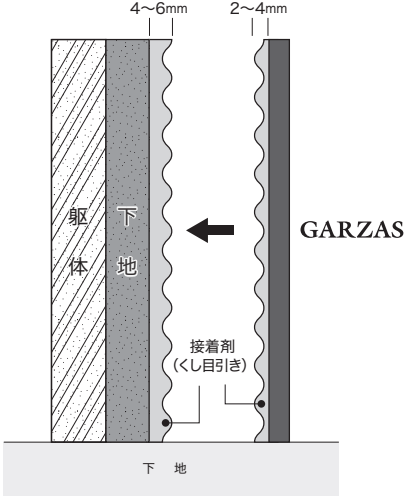
### 【事前確認事項】

- 天井部、斜め壁の施工はできません。
- 直火があたる場所、常時80℃以上の高温がかかる下地への使用はできません。
- 浴槽内で常時水に浸水している部分や、R面にはご使用できません。
- 下地の精度の影響を受けやすいので、下地が悪い場合、必ず下地の補修をしてください。
- 不陸が大きいと接着面積が低下し、剥離の原因となることがあります。
- ガルガスは磁器質タイルであり、割れ物です。運搬、施工時の取り扱いにはご注意ください。
- だんご張り、突き付け施工はできません。
- ガルガスは磁器質タイルであり、建築基準法第2条9項に基づき、不燃材料になります。

### 推奨接着剤

内装壁	内装床	外装壁
タイルメント インテリアフレックス	タイルメント MSフロア10	タイルメント フレックスマルチ
		

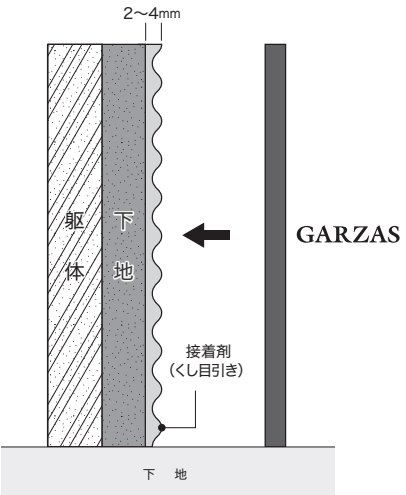
# 施工方法



The diagram shows a cross-section of a wall assembly. On the left is the '躯体' (structure). To its right is the '下地' (substrate). A layer of '接着剤 (くし目引き)' (adhesive) is applied to the substrate, with a thickness of 4~6mm. To the right of this is a vertical 'GARZAS' tile, with a gap of 2~4mm between it and the adhesive. An arrow points from the tile towards the adhesive, indicating the pressing action.

**改良圧着張り**

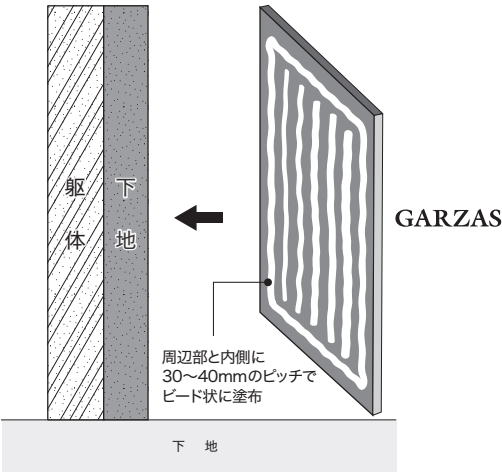
接着剤を下地面に塗り、硬化しないうちにタイル裏面にも同じ接着剤を塗り付けて壁面に押し付けて張ります。



The diagram shows a cross-section of a wall assembly. On the left is the '躯体' (structure). To its right is the '下地' (substrate). A layer of '接着剤 (くし目引き)' (adhesive) is applied to the substrate, with a thickness of 2~4mm. To the right of this is a vertical 'GARZAS' tile. An arrow points from the tile towards the adhesive, indicating the pressing action.

**全面接着張り**

平坦な下地に接着剤を前面にくし目を立てて均一に塗りタイルを上からもみ込むように張ります。



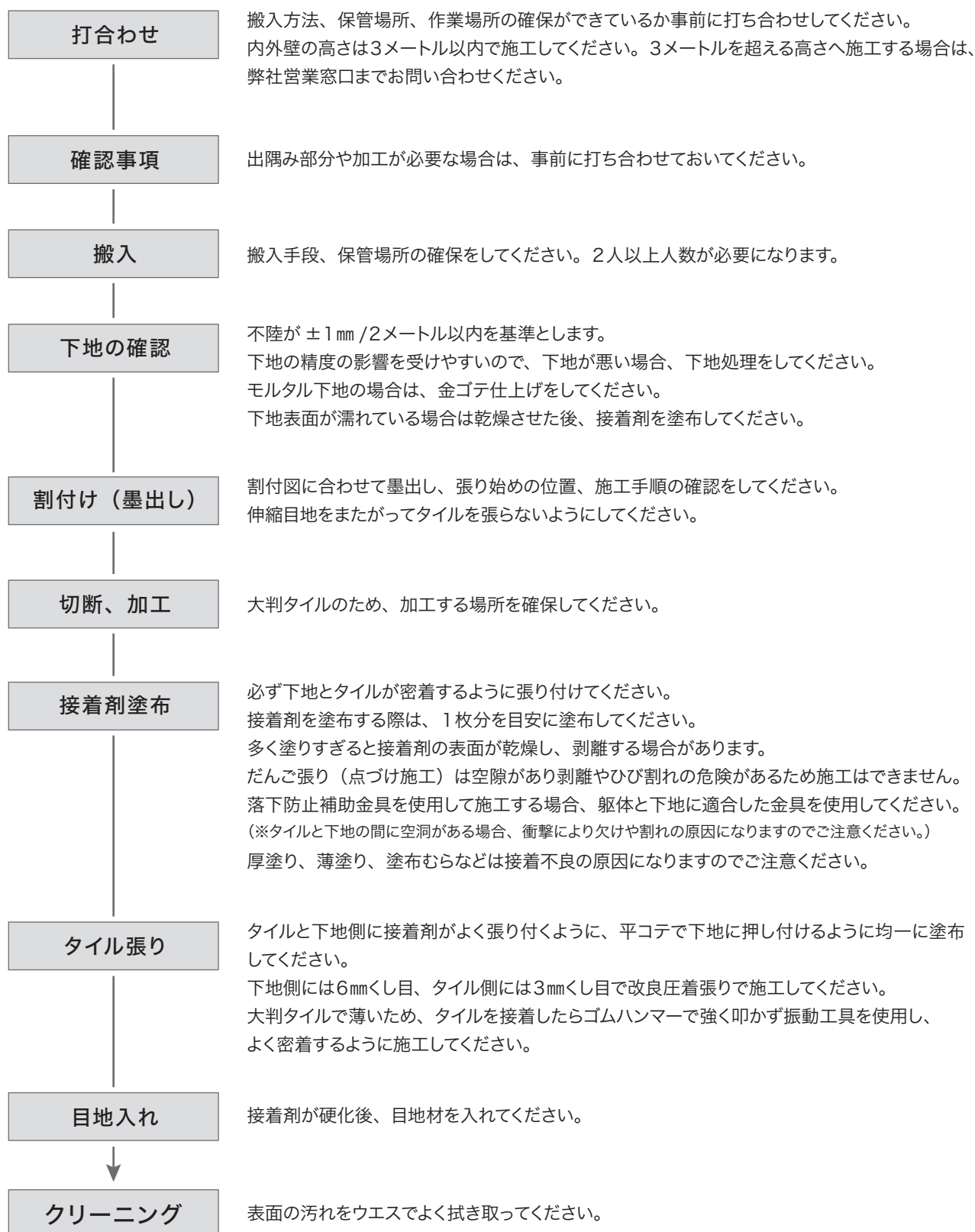
The diagram shows a cross-section of a wall assembly. On the left is the '躯体' (structure). To its right is the '下地' (substrate). A 'GARZAS' tile is shown being applied to the substrate. The adhesive is applied in a beaded pattern around the perimeter and inside the tile. A label indicates: '周辺部と内側に30~40mmのピッチでビード状に塗布' (Apply in a beaded pattern with a pitch of 30~40mm around the perimeter and inside).

**部分弾性接着剤張り (ビード塗布)**

タイルの裏面の周辺部とその内側に 30 ~ 40mm のピッチでビード状に塗布し下地面にしっかり揉み込むように張り付けます。

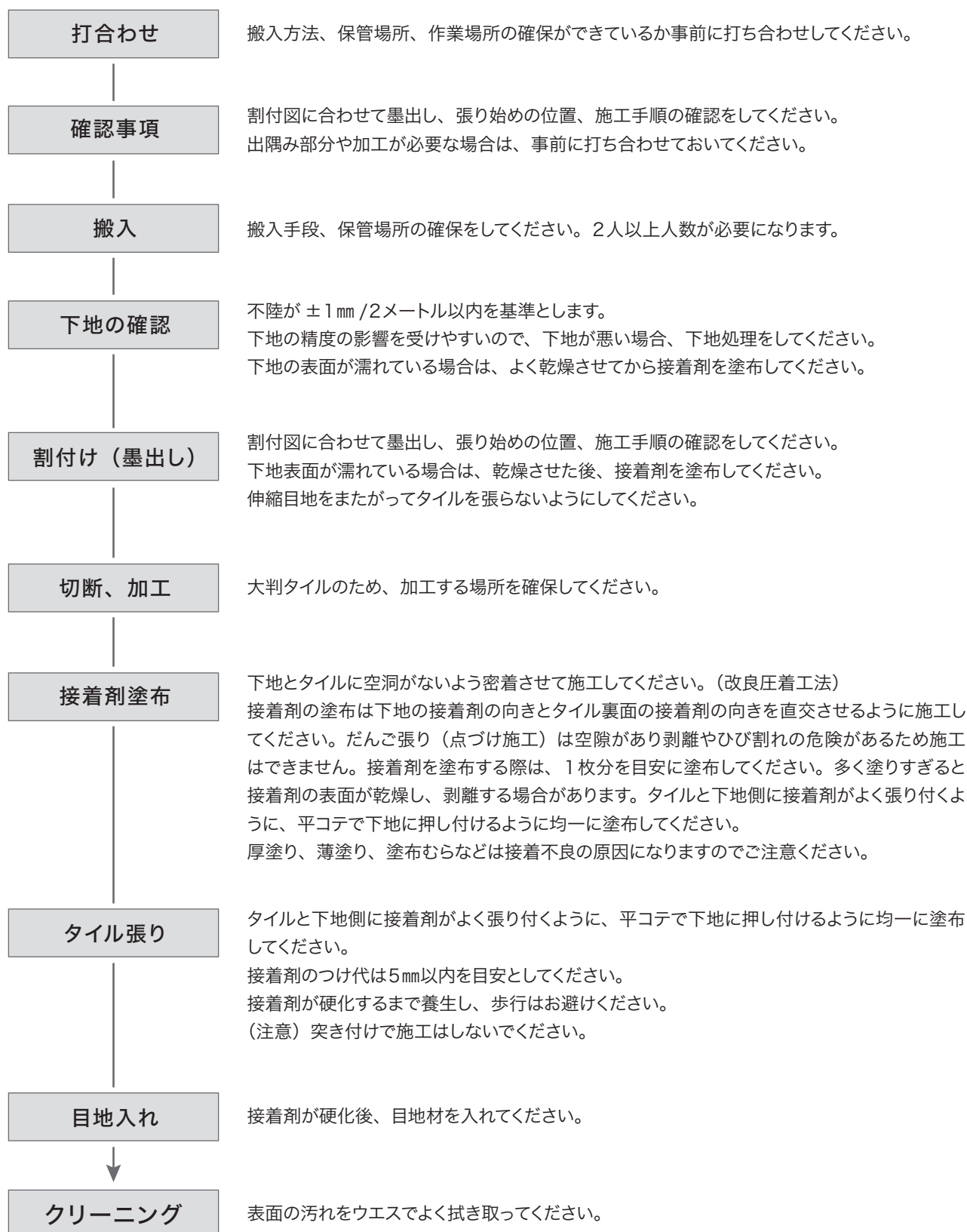
## 施工の流れ 内装壁

### ◆注意事項



## 施工の流れ 内装床

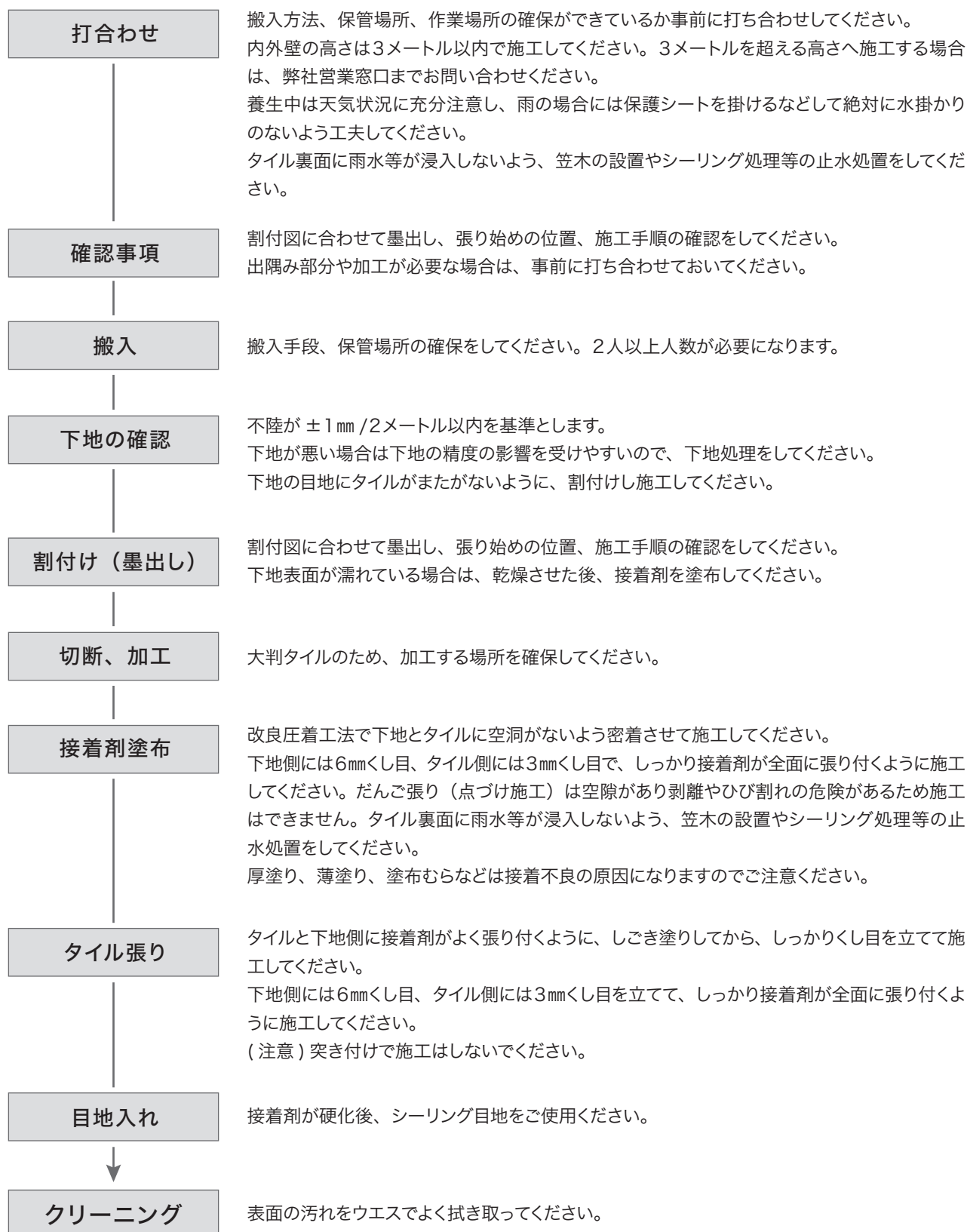
### ◆ 注意事項





## 施工の流れ 外装壁

### ◆ 注意事項



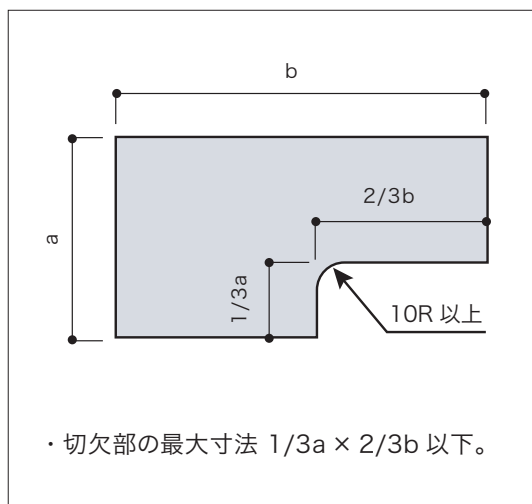


# 加工

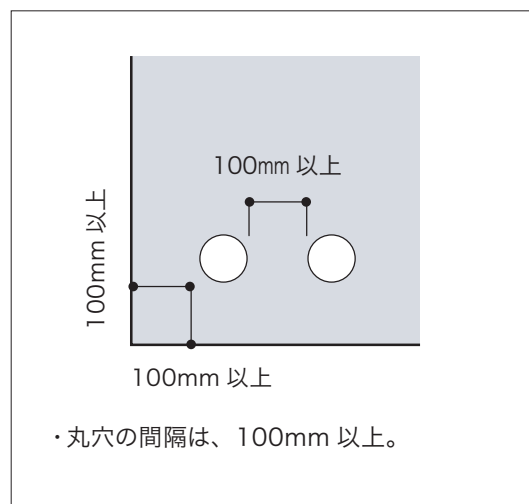
## 切欠・丸欠・角穴の加工について

下記事項の制限がありますのでご注意ください。(※その他加工は別途ご相談ください。)

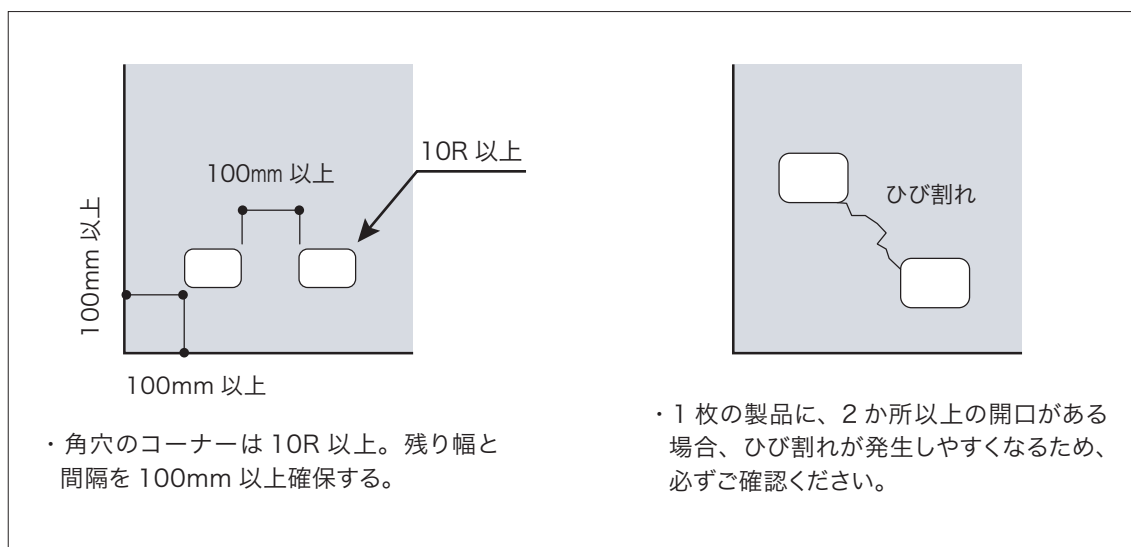
### ①切欠加工



### ②丸穴加工



### ③角穴加工

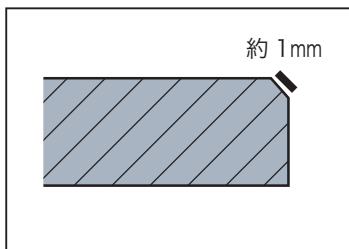


# 加工

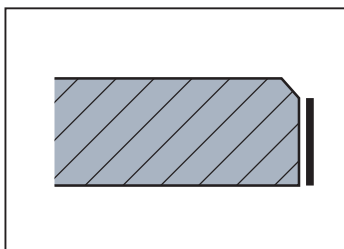
## 出隅加工について

出隅処理は下記の加工が可能です。(※その他加工は別途ご相談ください。)

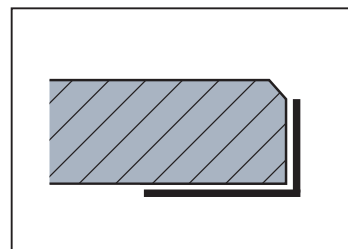
①糸面取り



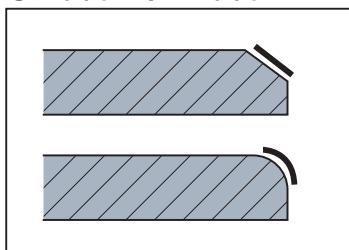
②小口磨き



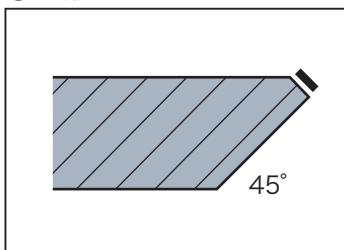
③小口磨き + 裏磨き



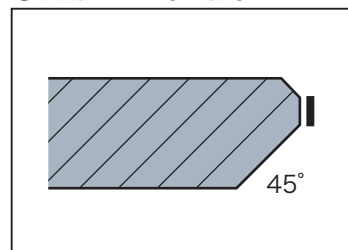
④角面取り / R面取り



⑤出隅トメ



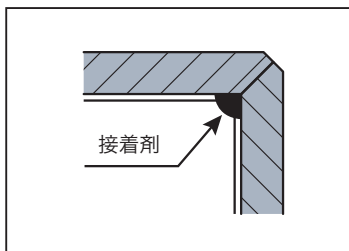
⑥出隅トメ (小段)



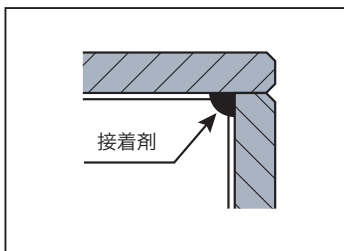
## 接着加工について

接着は下記の加工が可能です。合板への接着も対応可能です。(※その他加工は別途ご相談ください。)

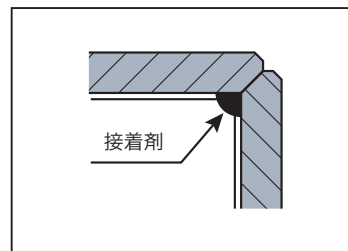
①トメ接着



②イモ接着



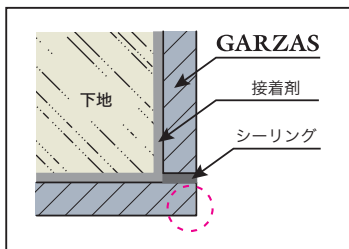
③小段接着



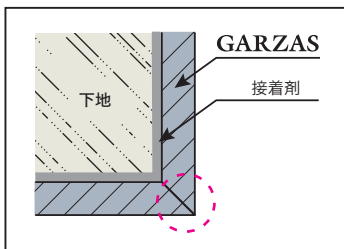
## 出隅の納まりについて

出隅の納まりをご紹介します。(※その他加工は別途ご相談ください。)

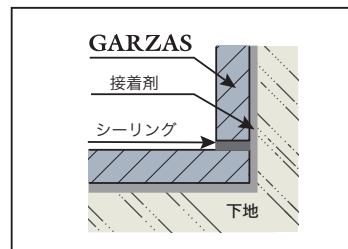
①勝ち負け



②トメ加工



③入隅



# 梱包

## 梱包形状について

正面



横面



裏面



- ・木パレットサイズは、梱包内容（サイズ・形）により異なります。

### 配送について

- ・配送は車上渡しとなります。必ず荷受人様の手配をお願いします。  
予め納入日に合わせて受取りのご準備をお願いします。
- ・納品日前に搬入経路、保管場所、加工場所など施工しやすい段取りをしてください。
- ・商品が到着したら、ご注文商品の確認や、カケや割れなどないか必ず確認してください。
- ・梱包材のパレットやダンボール等はお客様にて処分をお願いします。
- ・天候不順、交通事故、その他の事情により商品の到着やスケジュールが変更になる場合があります。

### 返品について

- ・お客様のご都合による返品や交換は、お受けできません。
- ・商品の引渡し時点で傷や破損がある場合を除き、返品や交換はいたしかねます。

## タイルメンテナンスについて

施工場所やタイルに付着する汚れは、使用する場所や汚れの状況によりメンテナンス方法が異なります。磁器質タイルのため吸水性は低いですが、汚れを付着したまま長時間放置すると除去することが困難になります。日常メンテナンス、定期的なメンテナンスを正しく行ってください。

### ご使用前の注意事項

- ・マットやポリッシュ（磨き）仕上げは、水濡れする床にご使用の場合、表面が滑りやすいため出入口などには足拭きマットを置くなどすべり防止してください。
- ・ポリッシュ（磨き）タイルは、表面が傷つきやすいため、土足の床面は使用できません。
- ・ISO、JIS 規格に基づいて製造していますが、製造上、反りやねじれ、表面の反射による揺らぎ（ポリッシュ仕上げ）などがある場合があります。

### メンテナンス時の注意事項

- ・酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。色落ちの原因になります。
- ・化学薬品が含まれるモップはタイルの表面を傷める場合がありますのでご注意ください。
- ・ポリッシュ（磨き）タイルの場合、メラミンフォームで強く擦ると表面が傷つき汚れやすくなりますのでご注意ください。
- ・粘着力の強い養生テープやシール、ガムテープなどタイルの表面に長時間貼り付けると変色する原因になりますのでご注意ください。
- ・目地に汚れが付いた場合、歯ブラシなどで軽く擦ってください。
- ・洗浄後は汚染水が残らないように、きれいに拭き取ってください。
- ・ISO、JIS 規格に基づいて製造していますが、製造上、反りやねじれ、表面の反射による揺らぎ（ポリッシュ仕上げ）などがある場合があります。

### お手入れ方法

#### [屋内壁]

日常のメンテナンスは乾いたウエスやモップで乾拭き掃除を行ってください。手垢など着いた場合は、固く絞った雑巾で拭き取ってください。

#### [屋内床]

日常のメンテナンスは、掃除機でホコリやチリを除去してください。泥汚れはモップやほうきで清掃してください。部分的に取れにくい油汚れの場合、中性洗剤を使用し除去してください。

#### [屋外壁]

一般的に砂や泥汚れなどは、かたく絞ったタオルもしくはブラシで洗浄してください。しつこい汚れの場合は、高圧洗浄機で汚れを除去してください。

#### [カウンター天板]

キッチンのカウンターの場合、油汚れや調味料の汚れはなるべく早く拭き取ってください。長時間、放置すると汚れが落ちにくくなります。汚れが落ちにくい油汚れの場合、中性洗剤を使用してください。日常からウエスで乾拭きもしくは固く絞った雑巾で拭き掃除して汚れを落とすようにメンテナンスしてください。しつこい油汚れの場合、スチームクリーナーを使用し除去してください。

### 各種汚れのメンテナンス方法

#### [靴跡（ゴム跡）の場合]

かたく絞った雑巾もしくはブラシで除去してください。それでも落ちない場合は、中性洗剤をご使用ください。

#### [砂、泥汚れの場合]

雑巾やほうき、モップ、掃除機で除去できます。

#### [コーヒー、ワイン、油汚れの場合]

長時間放置しておくとシミになり除去しにくくなります。汚れたら早めに拭き取ってください。市販の洗剤を使用する場合は、製品の使用方法や注意事項をよく読みご使用ください。

#### [ガム汚れ]

しつこいガム汚れはスクレパーを使用し、表面に傷つかないうえ除去してください。時間が経過すると除去しにくくなりますので、早めに除去するようにしてください。